

国際シンポジウム題名	京都大学国際シンポジウム 2023「アジアにおける地球環境学の教育・研究－農村文化とその保存が有する『人新世』における地球環境学での意義」
開催日	令和5年12月11日～ 令和5年12月11日 (1日間)
主催部局	地球環境学堂
協力部局名	農学研究科、工学研究科、ASEAN 拠点
国名	ベトナム
開催地	フエ
会場名	フエ農林大学
共催大学・機関名	フエ農林大学
シンポジウム開催概要	<p>12月11日にフエ農林大学において開催した(Zoomによるハイブリッド配信あり)。主な目的は、海外連携大学とこれまで行ってきた国際共同教育・研究の実績をベースに、今後の学問的発展のあり方を検討・議論すること、また幅広い分野の若手研究者に研究成果の発表機会を提供し情報を共有・議論するためである。このために、基調講演と、ポスターセッションとテーマ別の口頭発表セッションを実施した。参加者はアジア中心に13ヶ国52組織からの研究者や学生、民間企業関係者など、合計301名であった。</p> <p>シンポジウムは、湊長博 総長、勝見武 地球環境学堂長、Do Thi Xuan Dung フエ大学副学長、Tran Thanh Duc フエ農林大学学長による開催の辞から始まり(一部オンライン)、Le Van An フエ農林大学前学長による基調講演が行われた。その後、藤井滋穂名誉教授に、フエ大学の名誉教授の称号が授与され、その記念スピーチが行われた。</p> <p>午後には、5つのパラレルセッションからなるポスター発表(114件)、3つの口頭発表セッション(Environmental Technology, Natural Resources, Global Ecology)が行われた(発表数13件)。</p>
シンポジウム開催報告をホームページに掲載している場合のURL	(日) https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/news/events/20231226_23136 京大 HP: https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news/2024-01-15-2
参加者数(聴衆を含む)	301人